

## 「筑波研究学園都市 新規赴任者向け研修」について（案）

### 1 概要・目的

筑波研究学園都市に初めて赴任する研究者等を対象として、筑波研究学園都市の概要、所在する機関の位置関係、共用施設、研究コミュニティなどの研究生活に主眼を置いた有用な情報を紹介することで、新規赴任者のつくばへの理解向上及び組織・分野を超えた交流の促進を目的とする。

### 2 対象者

筑波研究学園都市に初めて赴任される筑協会員機関に所属する職員・社員

### 3 実施時期及び頻度

年1回、毎年4月～5月頃に実施する。

### 4 情報提供項目及び必要な資料

No.	項目	資料	作成元	備考
1	筑波研究学園都市の概要	茨城県紹介パンフ 特区計画資料など	茨城県	
2	つくば市の概要（生活情報なども） ・科学技術振興指針 ・市役所、警察署、図書館、学校、病院等 ・イベント情報（まつりつくば等） ・県内観光情報（主要観光施設等）	市役所資料 タウン誌など	つくば市	
3	筑協の概要	筑協パンフ	筑協	
4	立地研究機関（国立研究開発法人，大学，大学共同利用機関法人）の概要	各機関資料	各機関	※新たに作成する必要あり
5	研究推進機関の概要 ・T I A ・つくばグローバル・イノベーション推進機構（T G I） など	各機関パンフ等 （機関作成資料？）	各機関	
6	研究支援機関・施設の概要 ・つくば研究支援センター（T C I） ・つくばサイエンスアカデミー（S A T） ・文部科学省研究交流センター ・つくば国際会議場（茨城県科学技術振興財団） など	各機関パンフ等 （機関作成資料？）	各機関	
7	その他 ・人材情報サイトの紹介 ・つくばの研究最新情報 など	・T C I 求人情報 ・万博財団HP	・T C I ・万博財団	

## 5 実施方法

### 【提案1】資料配布のみ

- ・作成した資料等一式を新規赴任者あて配布する。

### 【提案2】研修会（筑波研究学園都市、つくば市及び筑協の概要説明）及び交流会の実施

- ・会場：文部科学省研究交流センター
- ・内容：（前半）研修：筑波研究学園都市、つくば市及び筑協の概要（情報提供項目1～3）を説明（県、市及び筑協事務局から説明）、それ以外は資料配布のみとする。  
（後半）交流会：参加者同士の交流（茶話会程度）

### 【提案3】研修会（各機関からの説明を含む）及び交流会の実施

- ・会場：文部科学省研究交流センター
- ・内容：（前半）研修：情報提供項目1～5を説明（県、市、筑協事務局、各機関から説明）、情報提供項目6及び7については資料配布のみとする。なお、立地研究機関及び研究推進機関の概要説明は、各機関から3分程度のプレゼンとする。  
（後半）交流会：参加者同士の交流（茶話会程度）

## 6 実施に当たっての検討事項及び主な課題

### （1）研修会の実施について

- ・そもそも新規赴任者を対象とする研修会のニーズはどの程度あるのか。また、研修会を実施するとした場合、魅力的な企画にしないと参加者が集まらないと考えるが、どのような企画が望ましいか。
- ・マンパワーが十分でない状況を踏まえると、資料配布のみ（提案1）とすることも考えられる。但し、この場合、新規赴任者同士の交流の場を提供することは出来なくなるが、新規赴任者同士の交流のニーズはどの程度あるのか。

### （2）情報提供項目について

- ・筑波研究学園都市に初めて赴任する者にとって有用な情報とは何か。例えば、筑協会員機関の所在地を示したマップを作成する必要があるか。つくば市が作成しているマップで十分か。
- ・立地研究機関の概要については、別添の様式（原則としてA4サイズ1～2ページ）に従って各機関に作成してもらうか、それとも既存のパンフレットにするか。
- ・提案3の場合は、立地研究機関及び研究推進機関に対し研修会の場での説明を依頼することになるが、各機関の協力が得られるか。

法人格	国立研究開発法人
研究機関名	産業技術総合研究所
事業所名	つくばセンター
ホームページ	<a href="http://www.aist.co.jp/">http://www.aist.co.jp/</a>
所在地	〒305-8560 つくば市梅園1-1-1
TEL	029-861-0000
FAX	029-861-0000

事業所写真



建物全景あるいは一部のデジタルデータをお送りください。

事業所概要	開所年月日 ××××年 ×月 ×日 敷地面積 △△△㎡ 建物延べ面積 △△△㎡
スタッフ	研究部門××名 ・ 管理部門××名 ・ その他 ×名 ・ 合計××名
研究概要	<p>①エネルギー・環境 世界的規模で拡大しているエネルギー・環境問題の解決に向けたグリーン・イノベーションの推進のため、温室効果ガスの排出量削減を実現する再生可能エネルギーなどの新エネルギーの導入を促進する技術（創エネルギー）・・・の開発を進めています。</p> <p>②生命工学 新たな健康評価技術や創薬推進技術の開発、あるいは個人の状態に合わせて健康維持・増進・回復を推進する技術の開発により、ライフ・イノベーションに貢献します。・・・・・・</p> <p>③情報・人間工学 産業競争力の強化と豊かで快適な社会の実現を目指して人間に配慮した情報技術の研究開発を行います。・・・・・・</p> <p>④材料・化学 産業の国際競争力強化とグリーン・イノベーション実現のため、競争力の源泉となる材料技術や化学技術の開発を推進します。・・・・・・</p> <p>⑤エレクトロニクス・製造 IT 機器の大幅な省エネ化と高性能化の両立を可能とする世界トップ性能のデバイスの開発と、省エネ、省資源、低コストな産業活動の実現を可能とする革新的な製造技術の開発を目指します。・・・・</p> <p>⑥地質調査 国として行うべき地質情報の整備のため「地質の調査」を行っています。・・・・</p> <p>⑦計量標準 持続可能な社会の構築、生活・環境の評価と向上、産業の国際競争力強化への貢献を目指し、国家計量標準機関（NMI: National Metrology Institute）として国が整備すべき計量標準の開発・供給と利活用促進、計量標準の普及、計量標準に関連した計測技術の開発、法定計量業務の実施と人材の育成について重点的に取り組みます。</p>
一言PR	わたしたちは、持続可能な社会の構築に向けて、グリーン・テクノロジーによる豊かで環境に優しい社会の実現、ライフ・テクノロジーによる健康で安心・安全な生活の実現、およびインフォメーション・テクノロジーによる「超スマート社会」の実現を目指します。
その他	※連携の可能性や筑協会員機関への希望などがありましたら、記載願います。

※新規赴任研究者の研修等に利用するものです。支障がない範囲でご記入ください。